

<研究名称>

バンコマイシンによる汎血球減少の発生状況調査とその要因の検討

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 薬剤部長 橋本 光生

実施担当者 薬剤師 井上 晃汰

<研究期間>

倫理委員会承認後から 2024 年 10 月

<診療・研究の目的>

バンコマイシン（以下、VCM）使用により汎血球減少が起こる報告は今まで多くなされている。最近、当院においても VCM 使用により汎血球減少がみられた患者を 2 名経験し、いずれも投与中止となった。他施設で G-CSF 製剤の投与を行った報告もあり、医師と治療方針について相談を行った。今回の症例に対しては G-CSF 製剤の投与を行わない方針となったが、今後も治療の過程で同様の症例を経験することが予測される。過去の当院での VCM 使用患者の血球のデータを確認し、要因などを検討した

<実施内容（方法）>

2018 年 4 月から 2024 年 3 月までを調査期間とし、後ろ向きに調査を行う。整形外科領域における VCM を使用した患者 40 名での年齢、体重、血清クレアチニン値、各血球数、VCM の累計投与量、トラフ値を調査対象とした。

結果の公表に関しては、2024 年 10 月 17 日-18 日に開催予定の第 60 回日本赤十字社医学会総会での発表を予定している

<危険性（副作用）等>

既に治療が完了した対象の電子カルテより該当症例のデータを抽出する後ろ向き研究であり、特に介入を行い研究ではない。データの解析は個人を特定できない方法で行うため、危険性はないと考えられる

<倫理上問題になると考えられる事項>

本調査は後ろ向き研究であり、介入研究ではないため、特に患者への侵襲や負担は発生しない。個人情報の保護のためにデータ解析時には個々の氏名や患者 ID を使用せずに匿名化（番号化）して解析を行う

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙 1 条 1 丁目 1 番 1 号

旭川赤十字病院 薬剤師 井上 晃汰 TEL : 0166-22-8111、FAX : 0166-24-4648